

業 績 調 書

※候補者作成書類

(ローマ字) (カタカナ) 氏名	() ()	性別	1.男 2.女	国籍	
生年月日	西暦 年 月 日生 (2024年3月末現在 歳)	E-mail			
現職	所属部局・部門等名	職名			
略歴 (年は西暦で記載)	1. 年 月 ～ 年 月 大学 学部卒 2. 年 月 ～ 年 月 大学大学院 研究科修士課程修了 3. 年 月 ～ 年 月 大学大学院 研究科博士課程修了 4. 年 月 博士 () の学位取得 () 大学 5. 年 月 ～ 年 月 6. 年 月 ～ 年 月 7. 年 月 ～ 年 月 8. 年 月 ～ 年 月 9. 年 月 ～ 年 月 10. 年 月 ～ 年 月 (現在に至る)				
海外での教育・研究経歴	1. 年 月 ～ 年 月 2. 年 月 ～ 年 月 3. 年 月 ～ 年 月				
研究テーマ	(和文)				
	(英文)				

推薦理由書

様式3に従って、候補者がダイバーシティ・スーパーグローバル(SENTAN-Q)研修を受けるにふさわしい業績を有する人物であることを示す推薦理由書2通を提出ください。

※ 推薦理由書作成者は、候補者の研究をよく理解している研究者とし、少なくとも1通は候補者の所属機関以外の研究者とする(海外研究者であればなお良い)。推薦理由書作成者は候補者と同一人物であってはなりません。推薦理由書作成者が海外研究者の場合は自由書式でも構いませんが、記載内容は共通のものとしてください。

A	所属機関名	氏名
B	所属機関名	氏名

I 【研究の概要】 ※2頁以内に収めること

II 【研究業績】を適宜引用（図表等を含めてもよい）しながら、これまでの研究の概要を、研究の背景と目的、研究の方法と主な成果、当該分野における研究業績の独創性とインパクトを含め、具体的に記載してください。とくに、グループによる研究の場合は、候補者が主体的に貢献した部分分かるよう具体的に記載してください。

【候補者氏名 _____】

業 績 調 書 (つづき)

【候補者氏名 _____】

II 【研究業績リスト】

原著論文（年順に記載、本人名にアンダーライン、責任著者に*印をつける。代表的な論文3編に○を付け、別刷りを添付）

著書・総説・論評・解説・書評・報告書・作品・ソフトウェア・データベース等

国内・国際会議招待講演

特許出願・取得

受賞

科学研究費補助金の採択状況

その他競争的資金の獲得状況

共同研究, 受託研究（競争的資金を除く）の受入状況

その他、業績として書き加えたい教育、社会貢献・国際連携、学会活動等の情報を追加しても構いません。九州大学の教員活動進捗報告システム（Q-RADeRS）、Pure等のデータを利用して準備ください。

【候補者氏名 _____】